



# 櫻井あき 選挙事務所びらき

## 日本共産党の宝の議席 必ず引き継いで!!

### 市民の暮らしを守る議席必ず! 市内各地域からあきさん激励に

夕張市議選の投票日を6週間後にむかえた3月12日(日)櫻井あき選挙事務所開きがありました。春が近づき雪解けがすすむ中、市内各所から、33名の支援者が駆け付けました。

#### 311の教訓も忘れ 原発推進に逆戻り!

冒頭、くまがい桂子選対本部長が、「私たちが今置かれている現在地を確認すると、12年前の3・11東日本大震災で、原発0をめざすはずが、

#### 平和憲法を忘れ 敵基地攻撃能力

また、二度と戦争をしないと誓った日本は今、「敵基地攻撃能力」という名で、軍事費を5年間で45兆円も増やし、国民の命と暮らしを犠牲にしようとしています。

#### 平和と暮らしを守る 先頭に立つ党議員

日本共産党は結党以来一貫して自由と平和の大切さを訴えてきました。

市民の皆さんに、こういった現状をしっかりと訴え、市民の暮らしを守る大事な仕事です。この貴



重な日本共産党の議席を、櫻井あきさんへと必ず引きつがせてください」とあいさつをしました。

#### 平和と暮らしを一人 ひとりが輝く社会に

つづいて、櫻井あき市議予定候補が決意の言葉を次のように述べました。

「立候補にあたり、市民アンケートをもとに、4つの基本政策をお示しました。今なにより大切なことは、軍拡路線を許さず、平和を守る運動を広げていくことだと考えています。今までの自分をいかし、自分らしさをモットーに、一人ひとりが輝ける社会をめざしていきたいと思えます。どうかみなさんのお力を貸してください」。

#### 誰よりも責任感が強く 目標へと歩み続ける人

メッセージが4通届き「誰よりも責任感が強く、目標を決めたら歩み続けるあきさんを、心から応援しています」等の紹介がありました。その後、後援会を代表して櫻井凛さんから、激励の花束が手渡されました。

#### 故あべ良順元議員の ゆかりの深い選挙 懐かしく感慨深い...

参加者を代表して、末広後援会の葛岡章さんが「数十年前、あべ良順元市議の選挙を応援したことがあります。今日ここで、そのあべ良順さんと縁の深い櫻井あきさんの事務所開きに参加して、感慨深いものを感じています。みなさんと力をあわせて、彼女の当選を勝ち取りたいと思います」と呼びか

けました。最後に、熊谷泰昌後援会世話人が、「立起表明以後、市民のみなさんから、驚きと称賛の声をいただきました。日本共産党の宝の議席を、くまがい桂子さんから櫻井あきさんへと、必ずバトンタッチさせてください」と呼びかけ、参加者一同でガンパローの声をあげ、櫻井あき選挙事務所開きは終了しました。

### 平和と暮らしを守る党の宝の議席 櫻井あきさんの当選を勝ち取ろう!



# 「憲法違反の大軍拡NO!」 街頭からの訴えと号外配布

3月6日、党後援会では、市民アンケートの結果をまとめた民報ゆうばり3月5日号と、春季特別号外の全戸配布作業に並行して街頭からの訴えを行いました。

本町・鹿の谷地域でマイクを握った櫻井あき予定候補は、岸田首相は国会で、大軍拡・大増税を進める姿勢を打ち出しました。その内容は、「専守防衛」を投げ捨て、自衛隊が米軍の指揮下で先制攻撃を行うという、憲法と国連憲章に完全に反するものです。

先制攻撃は、報復攻撃を引き起こし、日本を悲惨な戦場にする恐れを呼ぶものです。日本は戦争を放棄した国に必要なのは、政治の責任で絶対に戦争を防ぐための外交ビジョンではないでしょうか。



さらに、岸田政権の大軍拡は、平和だけでなく、暮らしも壊します。軍事費を5年で43兆円。ロシアを超える世界3位の軍事大国になります。

その一方で社会保障は圧縮して、農業予算も中小企業予算も減らすつもりです。今こそ、くらしと平和を守るために、「この北海道から、岸田政権NO!」の声を共に上げてまいりましょう…

と訴えていました。



桜井あきの  
ポカポカ日記  
夕張市議会議員 櫻井あき

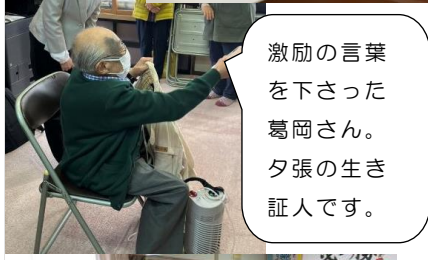


初めての事務所びらきに皆さんからあたたかいメッセージをいただきましたのでご紹介いたしました。本当にありがとうございます！

事務所開設、おめでとうございます。  
★周りを和ませるその笑顔と暖かい言葉を大切に…  
そして、自分らしく!!  
頑張ってください★

今後の日本、そして夕張市の発展にとって、女性議員の視点と活躍は絶対に必要です。  
私たちの代表である櫻井あきさんのご活躍に心から期待しています！

絵画に書道に料理にと多彩でもありますが、そういったところから湧き出る「人間味の豊かさと独自の発想」を活かして、市や市民の皆さんへ還元できる存在であると思います！  
心から応援しています☆



母からお赤飯とお漬物の激励

激励の言葉を下さった葛岡さん。夕張の生き証人です。

なんと、会場がびっしりに！



岩渕 友「国会かけある記」  
参議院議員  
岩渕 友

## 女性差別なくす運動の力強さ

「女性差別撤廃条約実現アクション」のみなさんが、女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求めた外務省要請に同席しました。

日本は1985年に条約を批准していますが、議定書は批准していません。選択議定書には、権利が侵害されたときに個人が国連に通報できる制度や権利侵害に対して調査を求める制度があり、条約と議定書はセットになっています。

5月に行われるG7サミットではジェンダー平等の達成も大きな課題の一つです。議定書を批准する国はすでに115カ国にのぼり、G7で批准していないのは日本と条約本体を批准していないアメリカだけです。

議定書の批准を求める意見書が可決された地方議会は189にのぼっており、全会一致で可決する議会も多くあります。昨年12月議会で意見書を可決した17市町のうち12を北海道が占めていて、党地方議員団が他会派に働きかけるなど重要な役割を果たしています。

対応した外務大臣政務官は、「国としては検討すべきという論点が残っているという立場は変わらない」とかたくなでした。参加されたみなさんは「批准を前提とした検討を行うべき」「議定書ができてから23年。何をしてきたのかと言われてもおかしくない」「サミットの議長国としてリーダーシップを発揮するべき」など厳しく指摘。積み重ねられてきた運動の力強さを感じました。政府はすみやかに議定書の批准を！この声を広げていきましょう。